

◎:最も関連するコンピテンシー
○:関連するコンピテンシー

授 業 科 目				DP1			DP2		DP3	DP4	DP5		DP6	DP7	
				他への思いやり、慈しむ心、豊かな教養、高い倫理観を備え、良好な人間関係を築くことができる能力			看護を必要としている人々に対して科学的根拠に基づき看護を実践できる能力		保健医療福祉における看護職者の専門性を自覚し、多職種と連携、協力できる能力	保健医療福祉分野の発展や課題を解決するために、情報通信技術(ICT)を用いて情報を利活用する能力	グローバル化する社会で看護職者としての役割を担うために、豊かな教養・国際的視野を持ち、異文化を理解する能力	看護学領域における課題を明確化し、科学的な方法を用いて、問題解決の道筋を構想する能力	専門職者として自律的に研鑽し続け、専門性を発展させる能力		
科目群	科目名	必修・選択	学年	仁	倫理観	人間関係形成	保健医療福祉専門知識	看護実践力	多職種連携	ICT利活用	知識・教養	国際的視野	探求心	自己研鑽	
				C1 1. 他を思いやり慈しむことができる能力	C2 2. 倫理的課題に対応する能力	C3 3. 人間関係を構築できるコミュニケーション能力	C4 4. 医学および看護に関連する諸学問の知識を活用できる能力	C5 5. 科学的根拠に基づき対象に必要な看護を実践する能力	C6 6. 保健医療福祉のケア環境において多職種と連携し協働する能力	C7 7. ICTを用い情報を利活用し課題解決する能力	C8 8. 教養を身につけた市民として行動できる能力	C9 9. 看護職者として国際的視野を持ち活動できる基礎的能力	C10 10. 看護への関心を深め、探求心を持って研究に取り組むことができる能力	C11 11. 自らの健康維持増進に留意して能動的に学び続けることができる能力	
人間と教養	人間の理解	文学の楽しみ	選択	1							◎				
		日本文化論	選択	1							◎	○			
		人間の生き方	選択	1	◎	○					○				
		現代社会と倫理	選択	1		◎					○				
		行動科学	選択	1			○	○			◎				
		美術	選択	1					○	○	◎				
		教育学	選択	1			○				◎				
		子どもの発達と教育	選択	1				○		○	◎				
	人間と社会	法(憲法)と生活	選択	1		○				○		◎			
		現代社会と政治経済	選択	2		○						◎	○		
		世界と日本現代史	選択	2								◎	○		
		医療の歴史	選択	1	◎	○		○				○			
		医療制度と関連法規	選択	3		◎		○		○		○			
		社会学入門	選択	1				○		○		◎	○		
	人間と自然・技術	基礎化学	選択	1				○				◎			
		基礎生物	選択	1				○				◎			
		生命現象の科学	選択	2		○		○				◎			
		データサイエンス導入	選択	1							◎	○			
		データサイエンス実践	選択	1							◎	○		○	
		看護とICT	選択	2		○				○	◎	○			
		統計学	選択	1							◎	○		○	
		生活科学	選択	2				○				◎			
	人間と言語表現	コミュニケーション論	選択	1			◎							○	
		英語Ⅰ	必修	1			○					○	◎		
		英語Ⅱ	必修	1			○					○	◎		
		医療英語	選択	2			○	○					◎		
		英語コミュニケーションⅠ	選択	1			○						◎		
		英語コミュニケーションⅡ	選択	2			○						◎		
		英語論文講読	選択	3								○	○	◎	
		中国語	選択	1			○					○	◎		
		スペイン語	選択	2			○					○	◎		
		ライティングスキル	選択	2			○					◎			
		スポーツと健康	スポーツと健康	必修	1			○	○						
	野外スポーツ実習Ⅰ(サマー)		選択	1			○								◎
	野外スポーツ実習Ⅱ(ウインター)		選択	1			○								◎
	ゼミナール		教養ゼミナール	必修	1	○		○				○		◎	
国際交流	国際看護研修	選択	3			○				○		◎			

◎:最も関連するコンピテンシー
○:関連するコンピテンシー

授 業 科 目				DP1 他への思いやり、慈しむ心、豊かな教養、高い倫理観を備え、良好な人間関係を築くことができる能力			DP2 看護を必要としている人々に 対して科学的根拠に基づき看護 を実践できる能力		DP3 保健医療福祉 における看護 職者の専門性 を自覚し、多職 種と連携、協力 できる能力	DP4 保健医療福祉 分野の発展や 課題を解決す るために、情報 通信技術(IC T)を用いて情 報を活用する 能力	DP5 グローバル化する社会で看護 職者としての役割を担うた めに、豊かな教養・国際的視野 を持ち、異文化を理解する能力		DP6 看護学領域に おける課題を 明確化し、科学 的な方法を用 いて、問題解決 の道筋を構想 する能力	DP7 専門職者とし て自律的に研 鑽し続け、専門 性を発展させ る能力
科目群	科目名	必修・ 選択	学年	仁 C1 1. 他を思いやり 慈しむことができ る能力	倫理観 C2 2. 倫理的課題 に対応する能力	人間関係形成 C3 3. 人間関係を 構築できるコミュ ニケーション能力	保健医療福祉 専門知識 C4 4. 医学および 看護に関連する諸 学問の知識を活用 できる能力	看護実践力 C5 5. 科学的根拠 に基づき対象に必 要な看護を実践す る能力	多職種連携 C6 6. 保健医療福 祉のケア環境にお いて多職種と連携 し協働する能力	ICT活用 C7 7. ICTを用い 情報を活用し課 題解決する能力	知識・教養 C8 8. 教養を身に つけた市民として 行動できる能力	国際的視野 C9 9. 看護職者とし て国際的視野を 持ち活動できる基 礎的能力	探求心 C10 10. 看護への関 心を深め、探求心 を持って研究に取 り組むことができ る能力	自己研鑽 C11 11. 自らの健康 維持増進に留意し て能動的に学び 続けることができ る能力
人間の健康	健康と社会	保健学概論	必修	1			○		◎		○			
		疫学・保健統計Ⅰ	必修	2			◎			○			○	
		疫学・保健統計Ⅱ	選択	3	○		◎			○			○	
		家族関係論	選択	1		○					◎			
		社会保障と社会福祉	必修	2			○		◎		○			
		保健医療福祉行政論	必修	3			○		◎		○			
		環境とエコロジー	選択	1	○						◎			
	心の健康	精神保健学	必修	1			○		○		◎			
		臨床心理学	選択	2		○	◎		○					
		カウンセリング論	選択	3		◎	○		○					
		人間関係論	選択	1		◎	○		○					
		ストレスマネジメント	選択	2	○	◎	○							
	健康と医療	形態機能学Ⅰ	必修	1			◎	○			○			
		形態機能学Ⅱ	選択	2			◎	○						
		生化学	必修	1			◎				○			
		微生物学	必修	1			◎	○			○			
		薬理学	必修	1			◎	○	○					
		臨床薬理学	必修	4			◎	○	○					
		臨床栄養学	選択	1			◎	○	○					
		病理病態学	必修	2			◎	○						
		臨床医学Ⅰ(循環器・消化器・呼吸器)	必修	1			◎	○						
		臨床医学Ⅱ(膠原病・内分泌・腎・泌尿器・血液・神経・麻酔学・救急医療)	必修	2			◎	○						
		臨床医学Ⅲ(運動器・皮膚感覚器疾患・放射線治療学)	必修	2			◎	○						
		臨床医学Ⅳ(小児)	必修	2			◎	○						
		臨床医学Ⅴ(女性・周産期)	必修	2			◎	○						
		臨床医学Ⅵ(精神障害)	必修	2			◎	○						
		ME機器と看護	選択	4			◎		○					
		現代の医療	選択	4		○	◎	○	○					
		救急法の理論と実技(BLS/ICLS)	選択	3			○	◎	○					

◎:最も関連するコンピテンシー
○:関連するコンピテンシー

授 業 科 目				DP1 他への思いやり、慈しむ心、豊かな教養、高い倫理観を備え、良好な人間関係を築くことができる能力			DP2 看護を必要としている人々に対して科学的根拠に基づき看護を実践できる能力		DP3 保健医療福祉における看護職者の専門性を自覚し、多職種と連携、協力できる能力	DP4 保健医療福祉分野の発展や課題を解決するために、情報通信技術(ICT)を用いて情報を活用する能力	DP5 グローバル化する社会で看護職者としての役割を担うために、豊かな教養・国際的視野を持ち、異文化を理解する能力		DP6 看護学領域における課題を明確化し、科学的な方法を用いて、問題解決の道筋を構想する能力	DP7 専門職者として自律的に研鑽し続け、専門性を発展させる能力
科目群	科目名	必修・選択	学年	仁 C1 1. 他を思いやり慈しむことができる能力	倫理観 C2 2. 倫理的課題に対応する能力	人間関係形成 C3 3. 人間関係を構築できるコミュニケーション能力	保健医療福祉専門知識 C4 4. 医学および看護に関連する諸学問の知識を活用できる能力	看護実践力 C5 5. 科学的根拠に基づき対象に必要な看護を実践する能力	多職種連携 C6 6. 保健医療福祉のケア環境において多職種と連携し協働する能力	ICT利活用 C7 7. ICTを用いて情報を活用し課題解決する能力	知識・教養 C8 8. 教養を身につけた市民として行動できる能力	国際的視野 C9 9. 看護職者として国際的視野を持ち活動できる基礎的能力	探求心 C10 10. 看護への関心を深め、探求心を持って研究に取り組むことができる能力	自己研鑽 C11 11. 自らの健康維持増進に留意し、能動的に学び続けることができる能力
看護の理論と方法	看護の基本	看護学概論	必修	1	◎	○			○					
		看護倫理	必修	2		◎							○	
		看護援助論	必修	1			◎	○						
		生活援助技術	必修	1	○			○	◎					
		フィジカルアセスメント	必修	2				◎	○					
		診療援助技術	必修	2				○	◎					
		看護の歴史・看護理論	必修	1								○	◎	○
		看護過程Ⅰ	必修	2				◎	○					○
		看護過程Ⅱ	必修	2				◎	○					○
		地域包括ケア探索実習	必修	1	○		○		○					◎
		多職種連携医療体験実習	必修	1			○		○	◎			○	○
		地域・在宅看護論基礎	必修	1				◎	○	○				
		地域・在宅看護方法論Ⅰ	必修	2				◎	○	○				
		地域・在宅看護方法論Ⅱ	必修	3				○	◎	○				
		地域・在宅看護実習	必修	3・4	○	○	○	○	◎	○				○
		がん・緩和ケア論	必修	3	○			◎	○	○				
		地域包括ケア論	必修	4				○	○	◎				
		生活行動援助実習	必修	2	○		○	○	◎					○
		精神看護学基礎	必修	2				◎	○		○			
		精神看護方法論Ⅰ	必修	2			○	◎	○					
		精神看護方法論Ⅱ	必修	3			○	○	◎					○
		精神看護実習	必修	3・4	○	○	○	○	◎	○				○
	ライフステージと看護	生涯人間発達論	必修	1				○	○			◎		
		小児看護学基礎	必修	2				◎	○			○		
		小児看護方法論Ⅰ	必修	2			○	◎	○					
		小児看護方法論Ⅱ	必修	3			○	○	◎					
		小児看護実習	必修	3・4	○	○	○	○	◎	○				○
		母性看護学基礎	必修	2		○		◎	○					
		母性看護方法論Ⅰ	必修	2		○		◎	○					
		母性看護方法論Ⅱ	必修	3				○	◎	○				
		母性看護実習	必修	3・4	○	○	○	○	◎	○				○
		成人看護学基礎	必修	1				◎	○					
		成人看護方法論急性期Ⅰ	必修	2		○		◎	○					
		成人看護方法論急性期Ⅱ	必修	2		○		○	◎					
		成人看護方法論慢性期Ⅰ	必修	2				◎	○					
		成人看護方法論慢性期Ⅱ	必修	2				○	◎					○
		成人看護方法論Ⅲ	必修	3	○			○	◎					
		周術期看護実習	必修	3・4	○	○	○	○	◎	○				○
		慢性看護実習	必修	3・4	○	○	○	○	◎	○				○
		高齢者看護学基礎	必修	1		○		◎	○					
		高齢者看護方法論Ⅰ	必修	2				◎	○	○				
		高齢者看護方法論Ⅱ	必修	3				○	◎	○				
		高齢者看護実習	必修	3・4	○	○	○	○	◎	○				○

◎:最も関連するコンピテンシー
○:関連するコンピテンシー

授 業 科 目				DP1 他への思いやり、慈しむ心、豊かな教養、高い倫理観を備え、良好な人間関係を築くことができる能力			DP2 看護を必要としている人々に対して科学的根拠に基づき看護を実践できる能力		DP3 保健医療福祉における看護職者の専門性を自覚し、多職種と連携、協力できる能力	DP4 保健医療福祉分野の発展や課題を解決するために、情報通信技術(ICT)を用いて情報を活用する能力	DP5 グローバル化する社会で看護職者としての役割を担うために、豊かな教養・国際的視野を持ち、異文化を理解する能力		DP6 看護学領域における課題を明確化し、科学的な方法を用いて、問題解決の道筋を構想する能力	DP7 専門職者として自律的に研鑽し続け、専門性を発展させる能力
科目群	科目名	必修・選択	学年	仁 C1 1. 他を思いやり慈しむことができる能力	倫理観 C2 2. 倫理的課題に対応する能力	人間関係形成 C3 3. 人間関係を構築できるコミュニケーション能力	保健医療福祉専門知識 C4 4. 医学および看護に関連する諸学問の知識を活用できる能力	看護実践力 C5 5. 科学的根拠に基づき対象に必要な看護を実践する能力	多職種連携 C6 6. 保健医療福祉のケア環境において多職種と連携し協働する能力	ICT活用 C7 7. ICTを用いて情報を活用し課題解決する能力	知識・教養 C8 8. 教養を身に付けた市民として行動できる能力	国際的視野 C9 9. 看護職者として国際的視野を持ち活動できる基礎的能力	探求心 C10 10. 看護への関心を深め、探求心を持って研究に取り組むことができる能力	自己研鑽 C11 11. 自らの健康維持増進に留意し、能動的に学び続けることができる能力
保健看護の統合と発展	公衆衛生看護	公衆衛生看護学基礎	必修	2			◎	○	○					
		公衆衛生看護方法論Ⅰ	必修	2		○	◎	○						
		公衆衛生看護方法論Ⅱ	選択	3			○	◎	○					
		学校・産業保健活動論	選択	3			◎		○					
		地域生涯保健活動論	選択	3			◎	○	○					
		地域健康危機管理論	選択	4			◎	○	○					
		地域ケアシステム論	選択	4			○	○	◎					
		公衆衛生看護実習Ⅰ	選択	3・4	○	○	○	◎	○					○
		公衆衛生看護実習Ⅱ	選択	3・4	○	○	○	◎	○					○
	保健看護の統合	家族看護論	選択	3		○	○	◎					○	
		リハビリテーション看護	選択	4			◎	○	○					
		感染看護	選択	3			○	◎	○					
		救命救急看護	選択	4				◎	○					○
		地域包括ケア実践統合実習	必修	4	○	○	○	○	○				○	◎
		看護研究の原理と方法	必修	3			○			○			◎	○
	保健看護の発展	卒業研究	必修	4			○			○			◎	○
		看護管理	選択	4		○			◎					○
		看護政策	選択	4		○			◎				○	
		災害看護	選択	4		○		○	◎					○
		看護教育	選択	4									○	◎
		グローバル・ヘルス	選択	4		○			○			◎	○	
		グローバル社会と看護	選択	2		○					○	◎	○	
		International Collaborative Study in Nursing	選択	2			○					◎		○
		看護におけるリスクマネジメント	選択	4		○	◎		○				○	
		スポーツと看護	選択	3			○		○					◎
		クリティカルケア実践	選択	3			○	◎	○					○
		データサイエンスの看護への応用	選択	3			○			◎			○	
		やさしい日本語と看護	選択	3					○		○	◎	○	